

# あゆみ

J C H O  
二本松病院

二本松市成田町1-553  
TEL.0243-23-1231  
FAX.0243-23-5086  
http://nihonmatsu.jcho.go.jp  
発行者: あゆみ編集委員会

## 新型インフルエンザ等対応訓練

11月21日に福島県北保健所主催の新型インフルエンザ等対応訓練  
(病院実働訓練)を当院で開催しました。

新型インフルエンザ等対応訓練は、県北地域において新型インフルエンザ等が発生した際に実際の運用を確認し、発生時の対応に備えることを目的に、病院実働訓練が実施されています。昨年の対応訓練は伊達地区の医療機関で行われ、今年は当院を会場に開催しました。

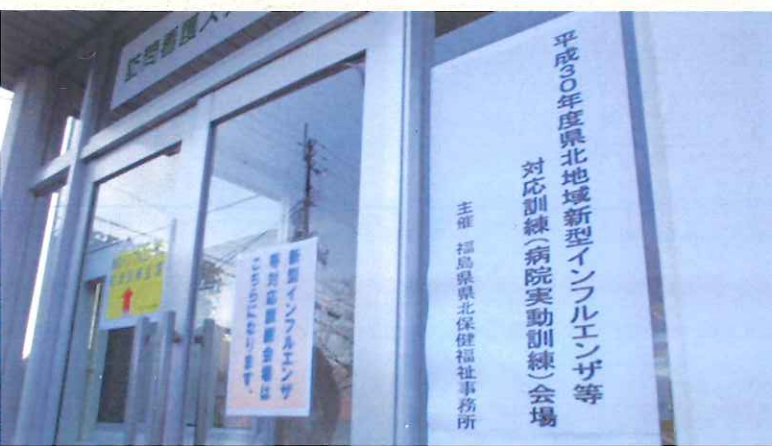
当日は、県北管内の医療機関、伊達地方・福島市・安達地方の消防本部、福島市保健所、県北保健所の方々等50名の参加がありました。

対応訓練の前に、公立大学法人福島県立医科大学感染制御学講座、仲村 究先生より新型インフルエンザ等について講演と、福島県県北保健所生活衛生部・医事薬事課担当者からの病院実働訓練のポイントについて説明がありました。その後防護具着脱のデモンストレーションを当院感染担当者3名で行ってから、県内発生早期における受診体制の訓練を行いました。

訓練の際には講演の時より活発な質疑応答があり、防護具着脱のデモンストレーション時には写真撮影される姿が多く見られました。新型インフルエンザ時の防護具着脱を行う機会はほとんどありませんでしたので、着脱方法について、実践後に講師の先生から助言もいただき、さらによい手順書ができると思いました。病院実働訓練では、県内発生早期という設定でした。県北保健所と患者とのやりとり、当院での受け入れ時の対応、検体採取の流れなどを実際に患者が来院した時を想定した訓練を行いました。

今回、訓練を行い実際に行動できるのか、平時からの対応訓練や、マニュアルの見直し、防護具の着脱方法の実際について病院スタッフへの周知と共に、各部署との協力関係が必要だと感じました。

感染管理認定看護師 斎藤 宏子



## 第4回

# JCHO地域医療総合医学会

11月16日～17日にTKPガーデン品川において「第4回JCHO地域医療総合医学会」が開催されました。当院でも院長、事務長はじめ総勢16人で参加してきました。



「気管切開下、人工呼吸器装着患者の食思へのアプローチ～経口摂取が可能となった一例～」という題で発表させて頂きました。初めてJCHO学会に参加させて頂きとても緊張しましたが、貴重な経験になりました。発表するにあたりご指導頂いた皆様には感謝申し上げます。

興味深い演題が多く、他病院のチーム医療や経口摂取への取り組み、摂食機能療法の実際を知ることができ大変勉強になりました。また、特別講演や教育セミナーも聴講することができ、有意義な時間になりました。今回参加して得た学びを臨床に活かしていきたいと思います。

3階病棟 高野 春菜

JCHO学会に参加させていただきありがとうございました。

発表するまでに何度も練習し、声のトーンや話すスピード、強弱など聞く人にとって聞きやすいように発表しようと考えていました。しかし自分が発表する時は、いざ壇上に立つととても緊張し頭の中が真っ白になってしまいました。それでも大勢の方の前で発表の機会を得たことで、貴重な体験をすることができ、大変良い経験になりました。また、発表の内容に対して他院の方からもアドバイスもいただき、今後の看護に生かしていきたいと思いました。

JCHO学会の参加は私にとって人生の財産(同僚の言葉)になるものでした。多くの方々の発表を聞き、看護・医療・介護の考え方や見方をたくさん聞くことができ、大変勉強になりました。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

腎センター看護師 工藤 若菜



今回、初めてJCHO学会に参加させていただきました。驚くことに品川の駅で迷い、TKPガーデンシティでは会場へたどり着けずに迷い、滞在先のホテルに行くのに迷ってしまい、人の多さに目が回りました。しかし、全国から集まったJCHOスタッフの様々な研究発表を聴くことができ、非常に良い経験となりました。医療の進歩は目覚ましく、診療放射線技師としてだけでなく、他職種の業務や研究についても知識を深める必要性を感じました。また新たな目標に向かい、これからも邁進し続けたいと思います。

診療放射線技師 儀藤 百合子

11月16～17日に行われたJCHO学会にて研究発表をさせて頂きました。私は定期的に研究や症例発表の機会を持つように心掛けていますが、何度発表しても緊張するものです(笑)。発表というのは、長い時間を掛けて自分が行ってきたことをごく短い時間に纏めて、聴衆の皆さんに伝える必要があります。そのためには、筋道を建てて考える「理論的思考」と「相手にわかりやすく説明できる技術」が必要になります。この2つは「Evidence-Based-Medicine(科学的根拠に基づく医療)」「informed consent(説明と同意)」を求められる我々医療従事者にとって必要なことではないでしょうか。私はこの思考と技術を磨くために、これからも発表に挑戦して行きます。また、後輩たちも後に続いて欲しいと思います。

訪問作業療法士 大内 秀和



# 第7回 二本松市一周駅伝大会に参加して

11月25日(日)二本松一周駅伝大会に二本松病院チームとして参加してきました。天候にも恵まれ、晴天のポカポカと過ごしやすい気候の下、気持ち良く走ることができました。

マラソンとは違い、櫂の重みを感じながら走る駅伝には、自分だけではなくチームの為に走る楽しさがあります。一人では走れないようなスピードやタイムが出るのも駅伝の魅力だと思います。結果は一般の部14チーム中13位と好成績とはいきませんでした。一本の櫂を繋いだ時間はとても充実したものになりました。個人的には4年連続でアンカーを走らせて頂きました。走る度に毎年5秒前後タイムが落ちていきます。来年は何とかタイムの後退に歯止めをかけたいと思っています。チームとして全体練習をする事はなかなか出来ませんが、また来年の大会に向けて各個人で練習に励みたいと思います。

診療放射線技師 三浦 勉



# 今年最後の看護学校の実習受け入れ

11月8日～12月7日まで、福島看護専門学校3年生5名が各病棟で老年期Ⅱの実習を行いました。統合実習を経て最後の実習という事で、3年間の集大成にふさわしい、学びの深い実習となりました。各部署・各病棟のスタッフの皆様には、この一年間、お忙しい中大変お世話になり、有難うございました。これからも宜しくお願いします。

実習指導者会 5階病棟 桑原 木綿子



# 避難訓練実施

11月22日に、夜間・病棟での火災発生を想定し8人の患者さんを無事避難誘導するという内容で避難訓練を行いました。

職員で患者役、夜勤の看護師役等を決め、応援を呼びかけて現場での初期消火訓練を実施。さらに北消防署の協力をいただき、はしご車を利用しての人命救助(訓練)を行いました。その後、消防署の職員から消火器の取り扱いについての説明があり、実践しました。「訓練」といっても、実際に院内にサイレンや放送が鳴り響くと、やはり緊張するものでした。

今回、訓練を行うことで自分自身がどのような行動をするのべきなのかを考えるよい機会にもなりました。火災は起きないことが一番ですが、万が一火災が起きてしまった場合でも、今回のような避難訓練を体験したことで、職員一人ひとりの防災の意識が高まったと感じます。

乾燥するこの時期、みなさんも火災について考え、自宅・職場などの消火器の位置を確認してみたいでしょうか。

4階病棟 看護師 鈴木 千佳子



おいしいものいっぱいクリスマスに向けて  
~ちょっと気になる糖尿病~  
**健康相談会開催!!**

世界糖尿病デーはWHOが定めた国際デーです。世界各地で糖尿病の啓蒙活動のイベントが行われています。そこで当院でも、11月15日に、地域に増加していく糖尿病について健康相談会を開催しました。

医師・管理栄養士・糖尿病看護認定看護師・理学療法士による健康相談の他に、血糖測定を無料で行いました。参加者からは、「心配事を先生に相談できてよかった。」「産後の血糖が心配でしたが、測ってもらって安心しました。」などの意見が聞かれました。

糖尿病委員会



編集  
後記

皆さんの今年最後の月となるカレンダーにも、イベントの予定がびっしりではありませんか。クリスマスパーティー・忘年会・女子会など。体調管理に気をつけながら、楽しく飲んで食べて踊って、笑顔で新年を迎えましょう。

Y・M記